

安全性データシート

改定日: 2019年12月9日

発行日: 2010年12月29日

SDS番号: 281-16

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

803 インダストリアル&マリン・ソルベントII

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

高性能水ベースアルカリ洗浄剤。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

皮膚腐食, 区分 1B, H314

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

<b>使用上の注意:</b>	P260	ミスト/スプレーを吸入しないこと。
	P264	使用后、手、顔、接触した皮膚を充分洗浄してください。
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P303/361/353	皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
	P305/351/338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P304/340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P301/330/331	飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P310	ただちに医師に連絡すること。
	P363	汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。
	P405	施錠して保管すること。
	P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

既知の影響なし

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS分類
炭酸ナトリウム	1-5	497-19-8	眼刺激性 2, H319
ヘキシルD-グルコシド	1-5	54549-24-5	眼に対する重篤な損傷性 1, H318
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル [異名: (2- メトキシメチルエトキシ)プロパノール]	1-5	34590-94-8	引火性液体 4, H227
水酸化カリウム	1-2	1310-58-3	急性毒性 4, H302 皮膚腐食性 1A, H314 金属腐食 1, H290

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

<sup>1</sup>分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

<b>吸入:</b>	新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。
<b>皮膚への付着:</b>	汚れた衣服を脱ぐ間に、作業場所に水を大量に流してください。衣服は再使用する前に洗ってください。石鹼水で皮膚を洗浄してください。直ちに医師の診断を受けてください。
<b>目に入った場合:</b>	大量の水で目を最低15分間洗い流してください。直ちに医師の診断を受けてください。
<b>呑み込んだ場合:</b>	無理に吐かせないでください。意識がある場合は大量の水を飲んでください。直ちに医師の診断を受けてください。
<b>応急手当を行う人の保護:</b>	個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。ミストを吸入しないこと。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

**4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)**

直接触れると、目や皮膚に重度の刺激を与える可能性があります、火傷に発展することもあります。皮膚に炎症が起きるほどの反復または長期曝露によって、慢性皮膚炎になる恐れがあります。

**4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候**

症状の手当てをしてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤:** 非引火性。周辺火事用の消火媒体を使用してください。

**不適切消火剤:** なし

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

有害な燃焼生成物には以下が含まれます: 一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

条件は特になし。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

使用時以外は容器の蓋を閉めてください。汚染した衣服は直ちに脱いでください。アルカリ物質は弊害を遅発することがあります。接触した場合は直ちに洗浄してください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

## セクション 8: 暴露防止及び保護措置

## 8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
炭酸ナトリウム	N/A	N/A	N/A	N/A
ヘキシルD-グルコシド	N/A	N/A	N/A	N/A
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	N/A	N/A	100 (皮膚)	N/A
			STEL: 150	
水酸化カリウム	(上限)	2	N/A	(上限) 2

\*Chestertonの推薦する限界: 100 ppm.

## 生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

## 8.2. 曝露制限

## 8.2.1. 設備対策

通気の良い場所でのみ使用してください。許容限界を超える場合は、局所機械換気装置で補完してください。

## 8.2.2. 作業員の保護対策

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機 / 酸 / 塩基呼吸マスクを使用してください (例: 欧州規格フィルタータイプ A-P2)。

**手袋:** 防水手袋 (例: ゴム、ラテックス、プラスチック)

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグル。

**その他:** 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

## 8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

## セクション 9: 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	透明な液体	臭気	かすかな臭気
色	赤	においの閾値	未定
初留点	100° C	20° Cでの蒸気圧	未定
融点	0° C	重量比芳香物含有率 (%)	0%
揮発率%(容量比)	89%	pH	13.1 - 13.7
引火点	なし	相対密度	1.06 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	> 1
粘度	< 5 cps @ 25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	完全水溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	未定

## 9.2. その他の情報

なし

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

なし

**10.5. 配合禁忌薬品**

アルミニウム、亜鉛、錫、あるいはそれらの合金 および 液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

**10.6. 危険な分解物**

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路: 皮膚や目への付着。

**急性毒性 -**

経口: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
炭酸ナトリウム	致死量50(LD50), ラット	4,090 mg/kg
ヘキシルD-グルコシド	致死量50(LD50) ラット	> 2,000 (類推)
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg
水酸化カリウム	致死量50(LD50), ラット	273 mg/kg

**経皮:**

物質	テスト	結果
炭酸ナトリウム	致死量50(LD50), うさぎ	> 2,000 mg/l
ヘキシルD-グルコシド	致死量50(LD50), うさぎ	> 2,000 mg/l (類推)
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	致死量50(LD50), ラット	9,510 mg/kg

**吸入:**

物質	テスト	結果
炭酸ナトリウム	致死濃度50(LC50), ラット, 2 時間	2.3 mg/l
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	致死濃度0(LC0), ラット, 7 時間	3.35 mg/l (死亡例なし)

皮膚腐食性/刺激性: 直接触れると激しい刺激を引き起こす可能性があります、火傷に発展することもあります。

物質	テスト	結果
水酸化カリウム	皮膚の炎症, うさぎ	腐食性

眼に対する重篤な損傷性/  
眼刺激性: 目に深刻な損傷を与える危険があります。

物質	テスト	結果
水酸化カリウム	目の炎症, うさぎ	腐食性

呼吸器または皮膚の感作: 過敏症を起こさないとされています, 入手可能なデータによる

物質	テスト	結果
水酸化カリウム	皮膚の感作, モルモット	皮膚の過敏なし

胚細胞突然変異原性: 生殖細胞の突然変異原ではないとされています, 成分あるいは類似物質からのデータに基づく。  
ヘキシルD-グルコシド, 水酸化カリウム, エイズ試験: 陰性

がん原性: 本製品は、国際がん研究機関(IARC)あるいは欧州化学機関(ECHA)の規定する発がん性物質を含有していません。

生殖毒性: 炭酸ナトリウム, ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, 水酸化カリウム:  
有害を起こさないとされています。ヘキシルD-グルコシド: データなし。

STOT - 単回暴露: 有害を起こさないとされています, 成分における入手可能なデータによると。

STOT - 反復暴露: 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害を起こさないとされています,  
成分における入手可能なデータによると。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

その他の情報: 既知の影響なし

## セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

### 12.1. 毒性

水生生物の多くはpH10以上の環境では生存できません。ジプロピレングリコールモノメチルエーテル:  
魚、ミジンコ、藻類に対する有毒性低。

### 12.2. 持続性・分解性

ヘキシルD-グルコシド, ジプロピレングリコールモノメチルエーテル: 直ちに生分解可能。水酸化カリウム, 炭酸ナトリウム: 無機物質。

### 12.3. 生物蓄積の可能性

危険成分: 生体内蓄積しません。

### 12.4. 土壌中の移動性

液体, 水溶性。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。ヘキシルD-  
グルコシド, ジプロピレングリコールモノメチルエーテル: 土壌内の移動性が極めて高いとされています。

### 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄処理方法

吸収物を正式に認可された設備で焼却、埋立て処理してください。  
液体は中和後水処理して有機物を吸収するよう規定されているかもしれません。  
地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

## セクション 14: 輸送上の注意

### 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1814

### 14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: POTASSIUM HYDROXIDE SOLUTION

### 14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 8

## 14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: II

## 14.5. 環境への危険性

環境危険性なし

## 14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

## 14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

## 14.8. その他の情報

IMDG: EmS. F-A, S-B "Separated from Acids"

ADR: Classification code C5, Tunnel restriction code (E)

## セクション 15: 適用法令

## 15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品:	クラスII薬品:
	なし	なし
その他の国内規制:	労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, 水酸化カリウム 毒物及び劇物取締法 劇物: 水酸化カリウム 水質汚濁防止法 指定物質: 水酸化カリウム	

## セクション 16: その他の情報

**略語一覧:** ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE: 急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 GHS: 世界調和システム  
 ICAO: 国際民間航空機関  
 IMDG: 国際海上危険物規定  
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL: 最小作用量  
 NOEC: 最大無作用濃度  
 NOEL: 最大無作用量  
 N/A: 該当せず  
 PEL: 許容暴露限度  
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS: 安全性データシート  
 STEL: 短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV: 暴露限界  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)  
 化学分類および情報データベース(CCID)

## GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
皮膚腐食性 1B, H314	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント: H227: 引火性液体。  
H290: 金属腐食のおそれ。  
H302: 飲み込むと有害。  
H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。  
H318: 重篤な眼の損傷。  
H319: 強い眼刺激。

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: 新配合を示すために変更を全て記入してください。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。